

鴨 島 病 院  
 介護老人保健施設 長寿園  
 グループホーム のぞみ

# 徳寿会だより



— 発行責任者 —  
 鴨島病院 病院長 土橋孝之  
 〒776-8588  
 徳島県吉野川市鴨島町内原 432  
 TEL:0883-24-6565  
 FAX:0883-24-6572

発刊に寄せて

鴨島病院 リハビリテーション長 田村英司



いつの間にか今年度も半分が経過し、歳をとるにつれて時の過ぎるのがどんどん加速していくように思います。皆様はどうお感じでしょうか？

当院リハビリセンターも開設されてから 20 年が経ちました。この間、リハビリ医療の向上はもちろん関係機関と協力し地域保健活動にも積極的に携わって参りました。

この機会にリハビリテーションのチーム医療を運営するものとして、多くの住民皆様からご教授していただいた事柄を基に、これから私たちが目指す方向を二つ申し述べたいと思います。

一つめは、『病気を治してなんぼの療法士』すなわちプロフェッショナルリズムの構築です。

近年、リハビリ室で行う「できるADL(日常生活動作)」と病棟で行う「しているADL」の差をなくすべく、リハビリ室より病棟でのリハビリを重視する傾向にあります。このことは、わざわざ練習しにくい病棟で行うことにより「できる」はずの能力を低下させているように思います。病棟での「しているADL」を発展させるためにも、リハビリ室での「できるADL」をもっともっと伸ばせる療法士を育成し、高い倫理性を養い自ら目標を持ち学び続けることができる部門づくりを目指しています。

二つめは、『地域をケアできるリハスタッフ』いわゆるジェネラリストの育成です。私たちは患者中心・家族志向の医療を提供するチーム医療はもちろんのこと、地域の子育てやスポーツ活動の支援・疾病予防・健康増進なども推進しています。特にご高齢の方には「楽しみ」や「生きがい」を通じて家族のきずなを深めるツールの模索を心掛け、「健康長寿の秘訣(病後の良いリハビリ)」や「社会から孤立させない参加型の地域づくり」を念頭において活動できるスタッフを育成し、各々の個性を生かせることのできる職場の環境づくりを心掛けています。

当部門が携わった「阿波踊り体操リハビリ編 写真①」「介護予防パンフレット」なども、この発想から生まれています。



写真①(阿波踊り体操リハビリ編)

リハビリスタッフ一同、『ALL for ONE ONE for ALL (みんなが一人のために、一人がみんなのために)』をモットーに日々、自己研鑽しています。今後ともお気軽にお声掛けいただき、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

秋冷日ごとにつる季節、どうぞお健やかに過ごしてください。

# お役立ち情報

## 鴨島病院 検査科

### 臨床検査について 知ろう！！

臨床検査って何だろう？

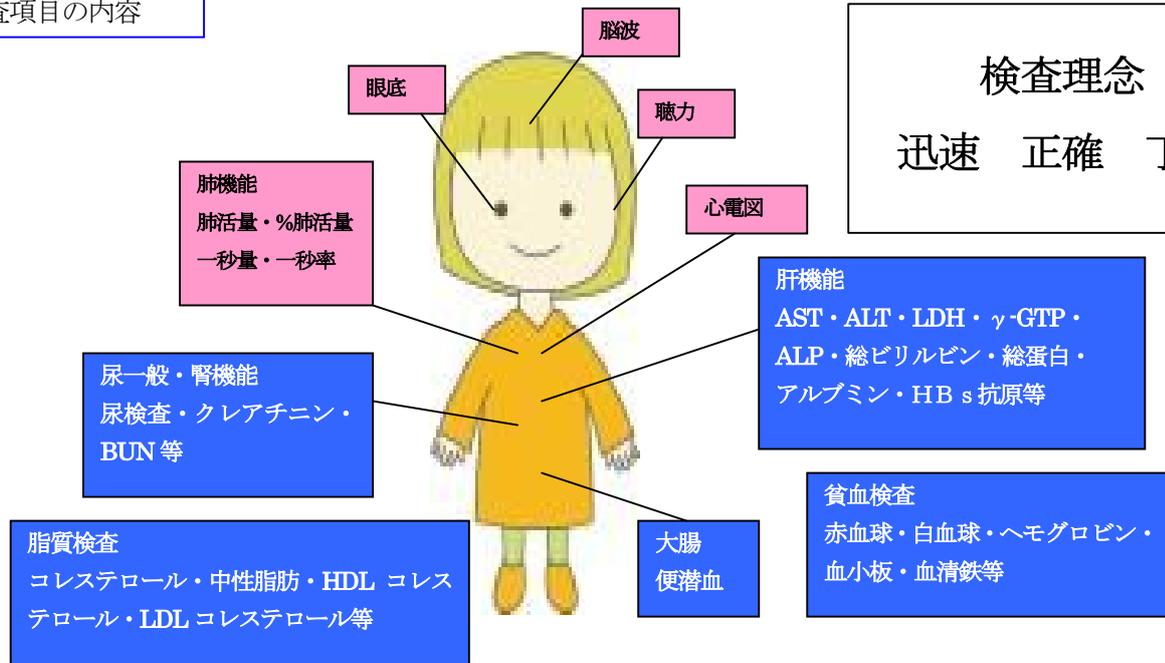
#### 臨床検査

#### 検体検査

患者さんから取り出した材料（検体）で行う検査

- 血液検査
- 尿検査 など
- 生体検査（生理機能検査） 患者さんの体に直接触れて行う検査
- 心電図検査
- 超音波検査
- 呼吸機能検査
- 脳波検査 など

#### 検査項目の内容



**検査理念**  
迅速 正確 丁寧

様々な検査が様々な目的で  
様々な場所で行われています

病気の診断のとき、検診、治療方針の決定や治療効果を判定したいとき、スポーツ、献血時などに検査します



一回の採血だけでは判断できない場合もあります

検査結果に一喜一憂する必要はありません

お問い合わせ：鴨島病院検査科（臨床検査技師まで）

TEL:0883-24-6565

※ ご不明な点につきましてはお気軽にご相談下さい。

# 院内八十八箇所シリーズ 13

## 鴨島病院 薬局

### 鴨島病院 薬剤部のご紹介



こんにちは、鴨島病院薬剤部です。今日はCMなどでおなじみのジェネリック医薬品について紹介したいと思います。

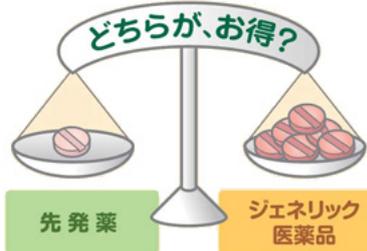
#### ジェネリック医薬品とは？

ジェネリック医薬品は、厚生労働省が先発医薬品と同等と認めた医薬品です。先発医薬品の特許満了後に、有効成分、分量、用法、用量、効能及び効果が同じ医薬品として新たに申請され、製造・販売される安価な医薬品です。

#### 先発医薬品とジェネリック医薬品との違い

品質的なちがいはないと言えます。その一方で、先発医薬品開発に10~15年の歳月と数百億もの投資が必要といわれるのに対して、ジェネリック医薬品の開発期間は3年ほどというちがひがあります。そのため、価格も先発医薬品の約半額に抑えることが可能になっています。

安価なのに、  
先発薬と同じ  
成分で  
効き目は同じ



#### 当院での取り組み

当院でも 2000 年よりジェネリック医薬品を採用してきました。患者さんに納得してもらえるだけ価格差、包装単位、サンプルで剤形等の確認、添付文書、MRから情報入手し、現在 10.6%ほどジェネリック医薬品に変更しています。また外来患者さんには院外処方で医薬品を選択していただくこともできます。

#### ジェネリック医薬品 処方までの流れ



#### 変更は1剤ずつ行いましょう

万が一、後発医薬品に変更したところで患者さんの体調に異変がおきたときに、複数の薬を同時に変更していると原因薬剤の判別が難しくなります。後発医薬品に含まれる添加物がアレルギー症状を引き起こすというようなことは十分におこり得ます。患者さんの了解を得た上で1剤ずつ変更していく方が安全です。

#### これまでの経過

2007 年に後発医薬品の普及に向けて政府は大きく動き、2012 年度までに後発医薬品を 30%以上にするとの目標を掲げました。

2008 年には処方箋が変更され、薬剤師が後発医薬品への変更が認められている処方箋を応需した場合、患者への説明が義務付けられ後発医薬品の調剤に努めなければならないことも明記されました。



#### ハイリスク薬には最大限の注意を払いましょう

薬剤によってハイリスクの程度は様々です。胃薬などは比較的风险が低いといえます。不整脈治療の循環器や、糖尿病関連の薬剤は命に直結するため銘柄変更にも最大限の注意を払う必要があります。特にハイリスク薬に該当する薬剤に関しては十分な説明を行う必要があります。

#### ハイリスク医薬品

抗悪性腫瘍薬、免疫抑制薬、不整脈用剤、抗てんかん剤、血液凝固阻止剤、ジギタリス製剤、テオフィリン剤、カリウム製剤(注射薬に限る)、精神神経用剤、糖尿病用剤、膵臓ホルモン剤、抗HIV薬

#### さいごに

今後もジェネリック医薬品は増えていくと思われます。わたしたち薬剤師も十分に説明した上で調剤を行いますのでよろしくお願いいたします。

お問い合わせ：薬剤部（市村）  
TEL:0883-24-6565

※これからも薬剤師はチーム医療に参加し皆様と協力していきたいと考えておりますので宜しくお願い致します。

# 院内八十八ヶ所シリーズ14

## 鴨島病院 治療実績

### 平成22年7月～9月回復期リハビリテーション病棟利用状況について

#### 回復期病棟在宅復帰率

月	全体	脳血管疾患	整形疾患	その他
7月	66%	83%	64%	50%
8月	55%	50%	60%	55%
9月	71%	62%	75%	75%

在宅へお帰りになられた方の割合を%で示しています。回復期病棟では一定の在宅復帰率が法律により求められています。  
(平均60%)

#### 回復期病棟への入退院者数

各利用者様のご希望に沿った退院先決定のためのプロセスをスタッフ一丸となってお手伝いいたしております。  
今後ともよろしく願いいたします。

月	入院者総数	退院者総数
7月	27名	27名
8月	22名	29名
9月	30名	28名

お問い合わせ： 鴨島病院  
TEL:0883-24-6565

※施設の利用方法や詳細をお知りになりたい方は  
お気軽に担当者までお問合せください。

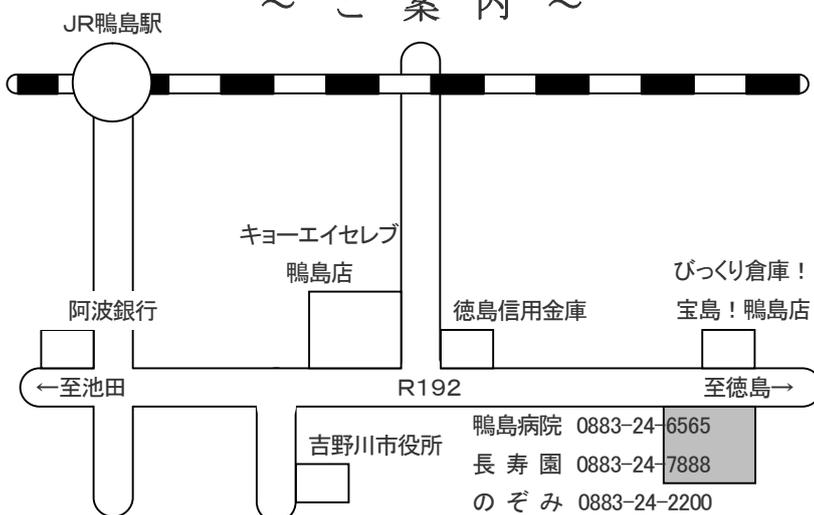
#### 徳寿会 理念

地域の皆様に医療介護の安心と満足を

#### 基本方針

1. 私たちは研鑽と協調に努め豊かな人間性を養い、資質の向上に努め、安全で質の高いサービスを目指します。
2. 私たちは地域との連携をはかり、亜急性期から慢性期にかけての合理的で効果的なサービスを推進します。
3. 私たちは医療人としての自覚と使命をもち、業務の効率化をはかり、健全なる経営でサービスを提供します。

#### ～ご案内～



#### ～法人からのお知らせ～

##### 募集しています

職種: 看護師

※パートタイム可 詳細はお気軽にお電話かご来院の上お問合せ下さい。  
(担当者: 前田)

##### ご意見・ご要望について

当法人では「KAIZEN委員会」を設けて、皆様によりよい医療、介護サービスを提供できるよう活動しております。ご意見やご要望がございましたら、お電話いただくか、施設内各所に設けております、「ご意見箱」をご利用ください。